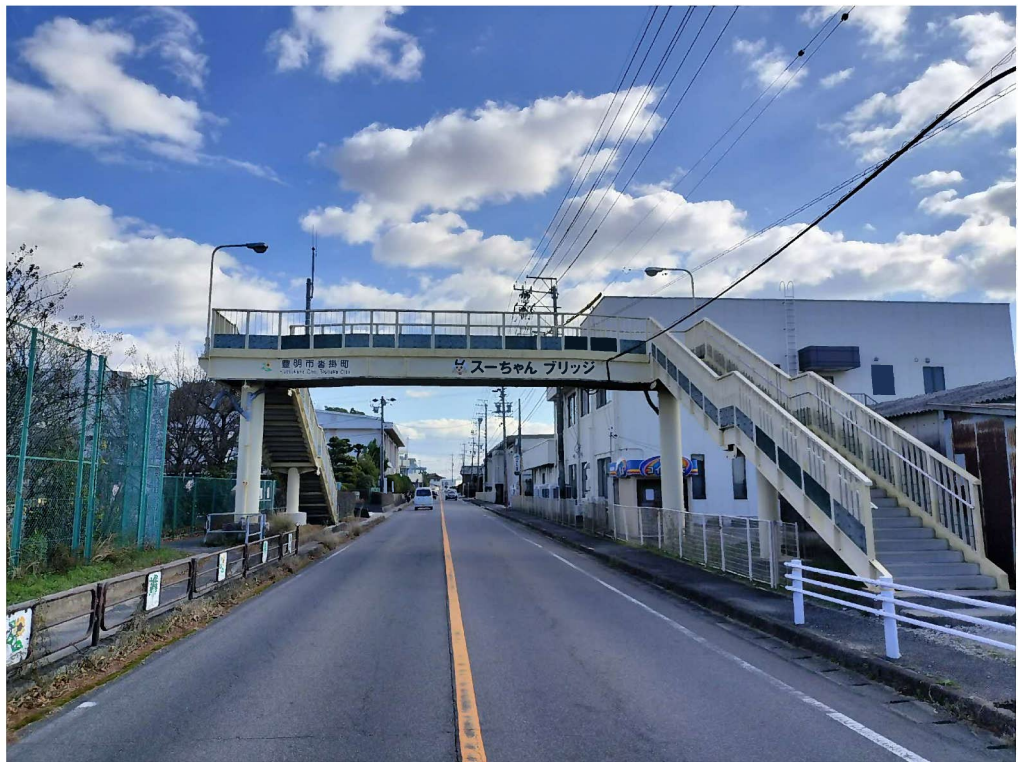


豊明市横断歩道橋修繕計画



沓掛横断歩道橋(スーちゃんブリッジ)

令和5年12月

豊明市 経済建設部 土木課

1 長寿命化修繕計画の目的

(1) 背景

豊明市の横断歩道橋は、高度経済成長期以降において整備され、今後、老朽化が進行すると予想されている。こうした状況の下、今までのような事後的な修繕および架替えでは更新コストが増大し、市の財政状況が厳しくなり社会資本関連の予算が削減されつつある昨今の状況では、適切な維持管理の継続に振り分ける予算の確保が困難となる可能性がある。

(2) 目的

上記の背景のもと、今後急速に増大する老朽化した橋梁の維持管理に対応するため、従来型の事後的な修繕・架替えから予防的な修繕・計画的な架替えへと円滑な政策転換を図る必要がある。

このため、橋梁の長寿命化及び橋梁の修繕・架替えにかかるコストの縮減を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保することを目的とした。

2 長寿命化修繕計画の対象横断歩道橋（対象横断歩道橋の概要）

(1) 計画対象の横断歩道橋

豊明市が管理する横断歩道橋は、8橋あり全ての横断歩道橋を対象とする。

(2) 横断歩道橋の構成

計画策定横断歩道橋の割合は以下のとおりである。

鋼橋の割合が100%（8橋）となっている。

表2.1 橋種別の横断歩道橋数・総橋長

橋種	橋梁数	総橋長
鋼橋	8橋	372.8m
計	8橋	372.8m

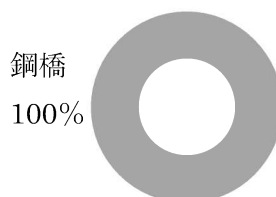


図-2.1 橋種別の横断歩道橋割合

3 計 画 期 間

本計画の期間は令和5年度～令和14年度の10年間とします。

4 健全度把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

(1) 健全度の把握に関する基本方針

健全度の把握については、横断歩道橋の架設年度・構造や立地条件等を十分に考慮して点検計画を立て、5年に1回の定期点検を実施する。定期点検においては、愛知県の「横断歩道橋点検要領」に基づいて実施し、横断歩道橋の損傷を早期に把握するよう心掛ける。

横断歩道橋点検要領では横断歩道橋の健全性の診断の一連として、横断歩道橋の状態の把握と次回定期点検までの間の措置の必要性について総合的な診断を行い、4つの区分で表-3.1に示すように判定している。

損傷が発見された横断歩道橋については市職員が現地を確認し、道路の安全管理に万全を期す。また、日頃から維持管理の技術向上に努める。

表-3.1 判定区分

区分		状態
I	健全	横断歩道橋の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	横断歩道橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	横断歩道橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	横断歩道橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

5 対象施設の長寿命化及び修繕・建替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

日常の道路パトロールの中で清掃等を実施し、定期点検の中で損傷の度合いおよび対策の必要性を定めるとともに、従来の事後的な修繕から予防的な修繕等の実施へ移行し、コストが掛かる建替えを極力なくすことにより、施設の長寿命化を目指す。また、長寿命化を適切に計画することにより、修繕・架替えに係る事業費の大規模化および高コスト化を回避し、ライフサイクルコスト（LCC）の縮減を図る。

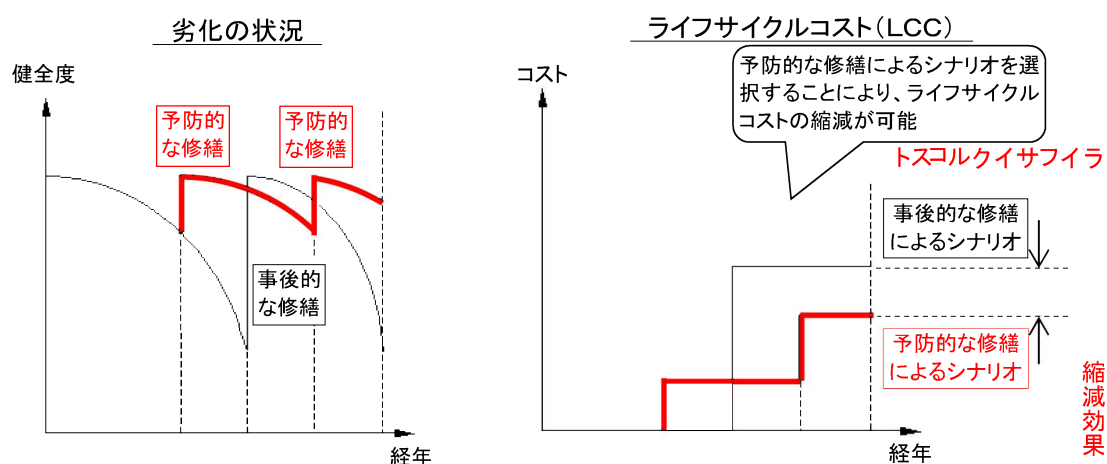


図-4.1 ライフサイクルコスト（LCC）と劣化予測の関連イメージ

6 修繕計画の概要

計画策定横断歩道橋 8 橋に対し、今後 10 年間の定期点検及び修繕等の実施時期を設定した。なお、修繕計画は、定期点検結果を基に、損傷状況や路線などの重要度を踏まえ優先度を付して立案する。

7 計画策定担当部署

計画策定担当部署

豊明市 経済建設部 土木課 TEL:0562-92-1116

豊明市役所 土木課

[illegible]